

第21回 山のグラウンドワーク 事業実施報告書

1. 事業の概要 広島大学「森林と人間」講座（第21回山のグラウンドワーク）を、炭焼き広場ほかで開催しました。今回は広島大学の学生・留学生と中国電力エネルギー総合研究所の方々や西条農業高校の生徒も参加して実施されました。午前中は、前回のグラウンドワークで除伐した材を炭焼き用に製材するチームと、憩いの森の若松の森ゾーンで台風被害を受けたアカマツ林の間伐等を行うチームに分かれて作業しました。午後からは、炭焼き広場で木酢液の使い方や木炭や竹炭の活用事例、バイオマス燃料や環境浄化についてなどの話を聞きました。前日の朝、雨の中火を入れた炭焼き窯からは木酢液も採取でき、夕方には無事、火を落とすことができました。なお、この活動をk a m o nケーブルテレビが取材しました。

2. 日時 2006年1月15日（日）9：30～15：00

3. 場所 東広島市 龍王山憩いの森 炭焼き広場及び若松の森

4. 参加者 69人

5. 作業内容 ①除伐作業
②製材
③薪割り
④木酢液採取
⑤お話（里山の管理あれこれ、炭の活用事例等）

6. 天候 晴れ時々曇り

7. プログラム 9：00 スタッフ集合
9：30 受付
10：00 開会式、オリエンテーション
10：20 グラウンドワーク
12：00 昼食
13：00 勉強会
15：00 閉会

8. 役割り分担

総括責任者	中越信和（広島大学総合科学部） 前垣壽男（西条・山と水の環境機構）
進行責任者	菊池 亜希良（広島大学大学院）
作業指導	惣郷 公三（東広島市産業部） 西条・山と水の環境機構関係者
救護	ひろた（井野口病院看護師）

9. 実施体制 主催：広島大学、西条・山と水の環境機構
協力：財団法人東光会、東広島市、井野口病院



開会式



オリエンテーション



除伐組は若松の森へ移動



除伐材を炭焼き窯のサイズに切る



太い木は、まき割り機で割る



午後の部の勉強会



材木がイス代わり



積みあがった炭焼き用の材